

第1回

「京都今昔物語」

鴨川文化回廊

～駅からはじまるカルチャー観光～

『鴨川文化フォーラム2012』

日時

2012年3月18日(日)10時30分～

「アートエリアB1(京阪電車中之島線「なにわ橋」駅構内)」

～貸切列車にて京阪電車「三条」へ

定員

事前予約制

200名様限定

千年を超える悠久の都、京都。その長い歴史の間、常に都の人々の暮らしに密接に関わってきた鴨川。鴨川を取り巻く歴史、文化、四季折々の自然、そして鴨川の水は大阪に通じ、多様な文化交流、経済の発展をもたらした高瀬川や京都の近代産業興隆の基盤となった疏水等をテーマとした講演会を行うとともに、史跡「高瀬川一之船入」の南側に位置し、鴨川の水を取り入れた庭園と、京都市の有形文化財で明治期の数寄屋造り建造物を有する「廣誠院」、また、疏水の水を取り入れた庭園と重要文化財で大正期の数寄屋造り建造物を有する「清流亭」、頼山陽の書齋であった「山紫水明処」の特別拝観を実施します。

内容

基調講演

『水が紡ぐ二都物語』／橋爪紳也氏(大阪府立大学特別教授)



講師:橋爪 紳也氏(はしづめ しんや)

プロフィール/工学博士・建築史家、大阪府立大学 特別教授。1960年大阪市生まれ。84年、京都大学工学部建築学科卒業。86年、同大学院工学研究科博士課程修了。90年、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。都市計画や近代建築史、建築企画・施設計画に関する基礎調査・研究や、都市観光研究、環境計画学領域における研究など、幅広い分野で活躍。08年から大阪府特別顧問、政策アドバイザーに就任し、12年には、府市の特別顧問に就任。都市の魅力向上など、大阪のまちづくりに関わるキーパーソンとして活躍。

映像上映

『疏水流れに沿って』～京都文化博物館蔵昭和初期の疏水映像～

貸切列車で移動

車内では、落語家
笑福亭鶴二氏による
落語「三十石」
(約1時間30分)
※車内にトイレはありません



笑福亭鶴二氏

プロフィール/1968年大阪生まれ。
六代目笑福亭松鶴に弟子入りし、「笑われるのではなく、笑わせる噺家」をモットーに、年一回独演会を開催。
[受賞歴]2010年「文化庁芸術祭」大衆芸能部門優秀賞受賞、
2011年第6回「繁昌亭大賞」大賞受賞

古都散策

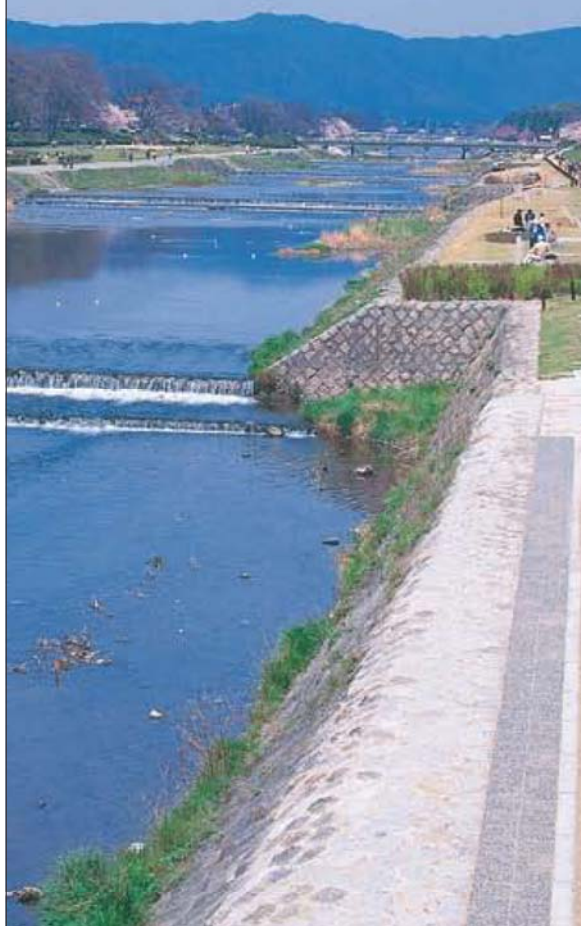
『鴨川文化回廊ウォーク』
(廣誠院・清流亭のいずれか1カ所と山紫水明処)

当日は京阪電車
「3000系」を貸切運行。

解散後、「京都東山花灯路」を
ぜひ、ご覧ください。



く 古都の歴史に想いを寄せて歩くく



～特別公開～



重要文化財(建造物)清流亭 庭園



京都市指定文化財 廣誠院



国史跡 山紫水明処

行程
スケジュール

『京都今昔物語』

鴨川文化回廊

～駅からはじまるカルチャー観光～

『鴨川文化フォーラム2012』

集合/10:00
「アートエリアB1」へ
(京阪電車「なにわ橋」駅構内)
各自ご集合

基調講演/10:30～
『水が紡ぐ二都物語』
橋爪紳也氏(大阪府立大学特別教授)

映像上映
『疏水流れに沿って』～京都文化博物館蔵昭和初期の疏水映像～

なにわ橋駅～中之島駅間はお客様ご自身にてご移動ください。
切符は当日お渡しさせていただきます。
(昼食は各自ご自由におとりください)

「中之島」駅から京阪電車の貸切列車にて「三条」駅へ移動
車内では、落語家 笑福亭鶴二氏による落語「三十石」

鴨川文化回廊ウォーク
Aコース「廣誠院」・Bコース「清流亭」いずれか1カ所を専門家とともに散策、
「山紫水明処」は自由観覧いただけます。

解散/現地にて解散となります。お帰りの際は、
開催中の「京都東山花灯路」をぜひご散策ください。

●開催:2012年3月18日(日)

●時間:10時30分～

●参加費:1,000円 おとな・子ども同額(当日お支払い)※

○集合場所:「アートエリアB1」(京阪電車中之島線「なにわ橋」駅構内)

○内容:フォーラム+各種散策(2コースに分かれます)

基調講演『水が紡ぐ二都物語』橋爪紳也氏(大阪府立大学特別教授)

映画上映『疏水流れに沿って』～京都文化博物館蔵昭和初期の疏水映像～

鴨川文化回廊ウォーク(廣誠院・清流亭のいずれか1カ所と山紫水明処)

○募集人員:200名

○主催:鴨川文化回廊実行委員会

(構成団体:京都府、(社)京都府観光連盟、京阪電気鉄道(株)、(株)JTBC西日本)

○協力:廣誠院、京都府京都文化博物館、大松(株)、(財)頼山陽旧跡保存会

事前予約制 申込締切:3月15日(木)17:30迄(先着受付順)

概要

※ キャンセルについて

●参加お申込み後、キャンセルされる場合は、イベント当日の3日前までに、
キャンセルの旨を右記連絡先までご連絡ください。ご連絡のない場合、キャン
セル料金が発生いたしますので、予めご了承ください。●旅行日の前々日～当日
にキャンセルされた場合、旅行代金の100%をキャンセル料金としてご請求させ
ていただきますのでご了承ください。

参加申込み・お問い合わせ

下記まで、お電話にてお申し込みください。

鴨川文化回廊実行委員会

事務局/JTB団体旅行京都支店内

TEL 075-252-6024

営業時間/9:30～17:30(土・日・祝祭日休み)

住 所/〒604-8152

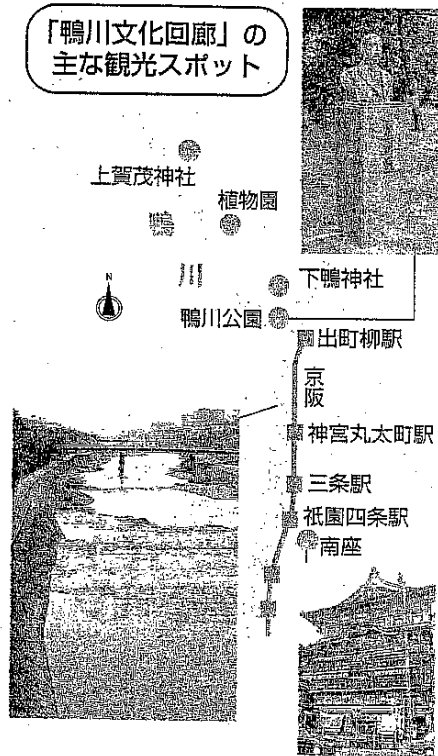
京都市中京区丸鳥通錦小路上ル手洗水町670

京都フクトクビル5F

歴史・伝統・食…京へ誘う呼び水に

鴨川文化回廊整備へ

「鴨川文化回廊」の主な観光スポット



散策コース設定

京都府は新年から、京都市街を南北に流れる鴨川沿いの歴史、文化スポットを多彩に結んで観光客を誘う「鴨川文化回廊」事業を京阪電気鉄道、松竹など各界と連携して始める。歴史舞台や祭り、水が育む食などをテーマに散策や体験を楽しめるコースを設定。市民フォーラムや大学講座も交え、鴨川を「呼び水」にした集客キャンペーンを繰り広げる。

長い歴史が息づく京の街を生きた文化の教室に見立て、多様で魅力ある観光スタイルを広げる試みで、府が河畔の府立植物園一帯で進める「北山文化環境ゾーン」整備などとも連動する。

回廊コースは、大阪方面から川沿いに洛北まで結ぶ京阪線の各駅を起点に、各2〜5時間程度の散策モデルコースを順次設定する。

伏見の酒蔵・名水巡り、葵祭の舞台の上賀茂神社、下鴨神社をはじめテーマ別のコースをそろえ、川や水にまつわる豆腐や茶の湯、友禅染めといった京の食や伝統文化・産業の体験企画も組み込む。

鴨川と映画、芸能とのかかわりにも光を当て、映画のロケ地としても有名な下鴨神社

府など講座や企画

糺の森（左京区）近辺がかつて阪東妻三郎らが活躍した「松竹下加茂撮影所」があり、鴨川公園では日本初の映画スターとされる尾上松之助の銅像が見られる。古くは鴨川の河原で出雲阿国をはじめ歌舞伎が上演されており、府は南座（東山区）を運営する松竹に協力を呼びかけ、昨年5月開催の「歌舞伎ミュージアム」のようなイベントと連携を図る。

府のホームページで回廊コースを発信し、観光客らが歩いて見つけた新スポットも募って新ルート創設につなげる。旅行会社のツアーにも活用してもらおう。歴史や文化、生態系などを学ぶ「鴨川文化講座」を大学やNPOなどと組んで開講する計画もしている。

3月には大阪市内で市民向けフォーラムを開き、淀川でつながる「水の都」との観光連携も探る。終了後、参加者に京阪線で京都へ足を延ばし鴨川周辺を散策してもらおう趣向で、定期的に開催する。京阪電鉄は「鴨川流域は世界に誇れる文化地域。沿線のブランド価値向上にもつなげたい」（鉄道企画部）と期待する。

府の松村明子観光政策監は「点在する文化スポットをつなぎ、線や面へと広域的に展開したい」と話している。

2012年1月1日
京都新南

（上野正俊）

鴨川浴い 見て聞いて

府「文化回廊」18日に第1弾

京の庭園散策、講演も

京都市などは18日、鴨川浴いの歴史、文化スポットを多彩に結んで観光客を誘う「鴨川文化回廊」事業を始める。第1弾として大阪―京都を結び、水にまつわる講演や庭園散策を楽しむ「鴨川文化フォーラム2012」を催す。

事業は「駅からはじまるカルチャー観光」と銘打ち、府、府観光連盟、京阪電気鉄道、JTB西日本(大阪市)で構成する実行委が主

催し、鴨川近辺の散策コース提案や各種イベントを展開する。

フォーラムは18日午前10時半から、京阪中之島線「なにわ橋」駅(大阪市北区)内のアトリエリアB1で、橋爪伸也(大阪府立特別教授)が「水が紡ぐ京都物語」と題して基調講演する。昭和初期の琵琶湖疏水の記録映像も上映する。

その後、貸し切りの京阪電車で笑福亭鶴二さんの落語「三十七」を楽しみながら京都へ。三条駅で下車後は「鴨川文化回廊ウォーク」として、琵琶湖疏水や鴨川から水を引いた庭園がある邸宅の「廣誠院」(中京区)

か「瀧流亭」(左京区)を訪れ、江戸後期の儒学者頼山陽の書斎、山紫水明処(上京区)を特別拝観する。夜は自由にライトアップ行事「京都・東山花灯路」を見物してもらう。

定員200人。参加費は1千円(電車賃など含む)。申し込みは15日までにJTB団体旅行京都支店内の実行委事務局075(2)52)6024。

(上野正俊)

平成24年3月7日(水) 京都新聞

鴨川文化を感じて

京と大阪でフォーラム講演や庭園散策

鴨川を中心とした川にまつわる講演や庭園散策を楽しむ「鴨川文化フォーラム2012」が18日、京都、大阪市内であった。参加者は普段非公開の邸宅「清流亭」（京都市左京区）などを訪れ、川から広がる文化や歴史に触れた。

新たな観光振興を目指す京都府の「鴨川文化回廊」事業の初イベ

車内で落語「三十石」を聞きながら京都市内に移動。その後、2グループに分かれて鴨川や疏水の水を取り入れた庭園のある「廣誠院」（中京区）や清流亭を見学した。

清流亭では、府文化財保護課の担当者から「昭和初期まで池の水は白川から引いていた」と説明を受け、雨にしっかりとぬれたコケや池が美しい庭や、重要文化財の主屋を見て回った。

会社員の山本亮太さん(25)「伏見区には「普賢見られない庭園」に来られ、落語も聞けてよかった」と満足そうだった。次回は4月15日に開催する予定。

(中村幸恵)



琵琶湖疏水から水を引いた池や重要文化財の主屋を見て回る参加者ら(18日午後、京都市左京区・清流亭) 撮影・辰口直史

京都 3/19 朝